

語

国

注意事項

- [一] (現代文) は必須。全員が解答せよ。
- [二] (現代文)・[三] (古文) は選択。どちらか一題を選び解答せよ。
- 必須一題 [一]、選択一題 [二]または [三]、計二題の解答となる。

問題を正しく選び解答すること。

国語

[一]

(全員が解答)

次の文章を読み、問に答えよ。

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

(有吉佐和子「中国旅行」による。一部略)

注 亀井勝一郎 文芸評論家。一九〇七～一九六六。

井上靖 小説家。一九〇七～一九九一。

平野謙 文芸評論家。一九〇七～一九七八。

問一 傍線部 a～e のカタカナを漢字に直せ。

問二 空欄 (A) には漢字二字の熟語が入る。最も適当な漢字二字の熟語を本文中から探し、解答欄に記せ。

問三 空欄 (B) には漢字三字の熟語が入る。最も適当な漢字三字の熟語を本文中から探し、解答欄に記せ。

問四 本文中には次の一文が脱落している。当てはめるのに最も適当な箇所を本文全体から探し、その直後の五字を解答欄に記せ。句読点も字数に数える。以下、同じ。

私も作家として、体得したものは私の仕事の中に活かして行きたいから。

問五 空欄 (X) に補う語として最も適当なものをそれぞれ次から一つずつ選び、記号で答えよ。

ア つまり イ しかし ウ さて エ そして

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

問六 傍線部①「暑気払い」とあるが、ここではどうすることか。二十字前後で説明せよ。

問七 傍線部②「私は、はっとして、しばらく身体が動かなかった」とあるが、それはなぜか。八十字以内でわかりやすく説明せよ。

〔二〕
（選択問題） 次の文章を読み、後の問に答えよ。

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

(原研哉「大量発話時代と本の幸せについて」一部改変による)

注 コモンセンス 常識。

タイポグラフィ 印刷術。文字の書体・大きさ・配列の仕方などのデザイン構成や表現。

アルゴリズム 手順上の定型的な手法・技法。

問一 傍線部 a～e のカタカナを漢字で記せ。

問二 空欄 (x) (y) を補う語句として最も適当なものを、次の選択肢の中からそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

ア さらに イ たとえば ウ いっぽうで エ とはいえ オ やはり

問三 空欄 A には、五字の語が入る。当てはめるのに最も適切な語を、問題文中から探して記せ。

問四 問題文に次の文を補入する場合、本文中の (1) (5) のどこに入れるのが最も適当か。その番号を記せ。

・著者も自著が電子ブックにとどまらず「紙の本」へと出世することを密かに期待するようになる。

問五 傍線部①「この傾向はむしろ望ましい」とあるが、筆者がそのように考えた理由を、問題文中の語句を用いて六十字以内で記せ(ただし句読点を含む)。

国語

国語

問六 傍線部②「小さな未来を小賢しく先取りすること」とあるが、具体的にどのようなことか。問題文全体を踏まえて六十字以内で説明せよ(ただし句読点を含む)。

[三] (選択問題) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

かくて四月になりぬ。十日よりしも、また五月十日ばかりまで、「いとあやしくなやましきこちに^①なむある」とて、例のやうにもあらで、七八日のほどにて、「念じてなむ。おぼつかなさ^②に」など言ひて、「夜のほどにてもあれば。かく苦しうてなむ。内裏へもまゐらねば、かくありきけりと見えむも便なかるべし」とて、^③はては消息だになくて久しくなりぬ。めずらかにあやしむこちす。^④あやしと、人知れず今宵をこころみむと思ふほどに、^⑤さるはなでふこともなかなり。いかにぞとだに問ひ触れざなり。まして、^⑥これと思へど、つれなしをつくりわたるに、夜は世界の車の声に胸うちつぶれつつ、ときどきは寝入りて、明けにけるはと思ふにぞ、ましてあさましき。幼き人通ひつつ聞けど、^⑦よりは、なにせむにかは、あやしとものせむと思ひつつ、暮らし明かして、格子などあぐるに、見出したれば、夜、雨の降りける気色にて、木ども露かかりたり。見るままにおぼゆるやう、

A 夜のうちにまつにも露はかかりけり明くれば消ゆるものをこそ思へ

かくて経るほどに、その月のつごもりに、「小野の宮の大臣かくれたまひぬ」とて世は騒ぐ、ありありて、「世の中いと騒がしかなれば、つつしむとて、えものせぬなり。服になりぬるを、これら、とくして」とはあるものか。いとあさましければ、^⑦「こころ、ものする者ども里にてなむ」とて返しつ。

(「蜻蛉日記」による)

注 例のやうにもあらで 「いつにも増して通つて来ず」の意。

世界 ここでは「世間」の意味。

小野の宮の大臣 藤原実頼

服 服喪。

これら、とくして 「服喪のための衣服を早く仕立ててくれ」の意。

問一 傍線部①について、「帰」った理由をこの「人」はどう説明しているか。最も適しているものを次の選択肢から選び、その記号を記せ。

ア 夜間に外出するのは心苦しいから。

イ 夜も更け、外出するには見苦しい時間だから。

ウ 参内しなければならない旨は、手紙で送れば事足りると考えたから。

エ 参内もしていないのに、出歩いてたと人に見られるのは不都合だから。

オ 参内せねば、このように夜歩きをするための便宜も図ってもらえなくなるから。

問二 傍線部②と③はなぜか、最も適しているものを選び、その記号を記せ。

ア 怒っていたと聞いていたのに、まだ待っていてくれたから。

イ 怒ってはいるが、それでもやはりあの人を待つてしまふから。

ウ 病状が良くなったと聞くのに、いくら待っても来てくれないから。

エ 病氣は治ったとは聞くが、しばらく安静にするのに越したことはないから。

オ 怠慢だという評判が立ったとしても、時が過ぎるのを待つしかないと思うから。

国語

国語

問三 傍線部③を現代語訳せよ。

問四 傍線部④・⑤の説明として最も適しているものを次の選択肢からそれぞれ選び、その記号を記せ。

④

ア そしらぬ顔をする、作者の態度である。

イ 夫の好意を無下にする、作者の態度である。

ウ 愛想のない態度をとる、夫の様子である。

エ 作者の嫌味を意に介さない、夫の様子である。

オ 作者の行為に関心を持たない、夫の様子である。

⑤

ア 夫が作者の機嫌を取っているということ。

イ 夫が幼子を可愛がろうとしないということ。

ウ 夫に特に変わった様子は無いということ。

エ 作者が自分の態度を改めようとしているということ。

オ 作者が幼子に思いを託すしかないと考えているということ。

問五 傍線部⑥の現代語訳としても最も適しているものを次の選択肢から選び、その記号を記せ。

ア これからは、なんとかして、怪しむ気持ちを表していこう

イ これからは、なんのために、怪しい態度を許せばいいのだろうか

ウ これからは、どうして怪しい態度を許そうか、いや、許さないだろう

エ 私の方から、なぜ来てくれないのか、不思議ですね、などと伝えられるはずもない

オ 私の方から、あなたなしでどうやって生きていけましょうか、いえ、生きていけません、と伝えよう

問六 Aの和歌の解説として最も適しているものを次の選択肢から選び、その記号を記せ。

ア 夜の間に松の木に露がかかったように、明け方には私の涙の露も消えてしまったと、掛詞と序詞を使って表現している。

イ 夜の間に松の木に露がかかっているように、あなたを待っている間に私の目にも涙が浮かんでいると、掛詞と序詞を使って表現している。

ウ あなたの訪れを待つ夜と、あなたが来ないまま夜が明けてしまった朝と、どちらのつらさも自分は味わっている

エ 夜雨が降ったことは木々に露がかかっていることから知れるが、あなたの思いは露が消えるように見えなくなっている

オ あなたがやってくるのを待つ間にすっかり木々に露がかかってしまったように、朝まで泣き明かした私の涙も消えることはない

問七 傍線部⑦は、誰が何をしたということか、具体的に説明せよ。

問八 『蜻蛉日記』の作者の縁者とは言えない人物を次の選択肢から一つ選び、その記号を記せ。

ア 藤原道綱 イ 藤原純友 ウ 藤原兼家 エ 藤原倫寧 オ 『更級日記』作者